

帯 広 市 都 市 計 画 審 議 会

令和 8 年 度 第 2 回 議 事 概 要

日 時：令和 8 年 8 月 2 0 日 (月)

1 4 時 0 0 分～1 4 時 4 5 分

場 所：帯広市役所 議会棟 3 階 全員協議会室

令和８年度 第２回 帯広市都市計画審議会 議事概要

日 時：令和８年８月２０日（月曜日）１４時００分～１４時４５分
場 所：帯広市役所 議会棟３階 全員協議会室
出席委員：岩本会長、河西副会長、有城委員、太田委員、神田委員、工藤委員、木幡委員、
齋藤委員、播磨委員、平井委員、吉田（昌）委員
（以上１１名）

事 務 局：篠原都市環境部長、川角都市建築室長
（都市政策課）廣瀬都市政策課長、朝野都市政策課主幹、中島都市政策課長補佐、
近藤主任、横山主任補

傍聴者等：報道関係者 ２名

配布資料：会議次第、委員名簿、座席表、帯広市立地適正化計画（素案）について

【次第】

- １ 開 会
- ２ 議 題
（１）報告事項
帯広市立地適正化計画（素案）について
- ３ 閉 会

【議事概要】

３ 議題

○議題 帯広市立地適正化計画（素案）について

ー帯広市立地適正化計画（素案）について説明ー

○委員からの意見、質問等

（委員）

公共交通について、バス停の徒歩圏（３００メートル）を歩けない高齢者が今後増える可能性があるため、デマンド交通の計画・必要性も検討してほしい。また、標高の低い危険な箇所を市民に分かりやすく周知する取組み（表示等）も必要ではないか。

（会長）

防災・公共交通の観点からの意見として承った。交通関係の委員から意見はないか。

（委員）

居住の集約は路線維持の観点でありがたい。一方、ドライバー不足で運行維持が厳しく、市内２社での共同運行等も将来想定される。バスが入れない住宅街もあり、タクシー等他事業者との連携が必要だが、担い手の確保が課題である。

（会長）

防災関連について、建築部門の委員に伺いたい。

（委員）

計画は分かりやすくまとめられているが、市民にとってはやや難解な印象を感じる。浸水深に加え、復旧にかかる期間や費用面など、リスクの具体像も示せるとよいのではないか。

（会長）

地震について、個別建築の耐震などの観点で留意すべき点はあるか。

（委員）

地盤の良し悪し（軟弱地盤・液状化）も含めて取り組むのか気になる。また、災害リスクのある場所を居住誘導区域に入れるか検討するとした点の意味や誘導方法を伺いたい。

（事務局）

検討手順の第1段階で、法令上除外する区域に加え、災害リスクの高いレッドゾーンは居住誘導区域に含めないことを大前提としている。イエローゾーンは、防災指針でリスクや災害想定を加味し、地域防災計画等のソフト対策を踏まえて居住誘導区域への算入可否を検討する。ハザード情報を整理し、耐震の取組み等も踏まえて、原案に向けて判断していく。

（委員）

地震災害は北海道全体の図を表示しているが、居住誘導区域に断層位置を落とし込んだ資料があれば、耐震化を促す観点で有益ではないか。

（会長）

この点はいかがか。

（事務局）

「揺れやすさマップ」を作成済みであるが、市街化区域はほぼ震度6程度の想定のため全体像を示すために北海道全体の図を表示している。見せ方は検討する。

（会長）

既存の古い建物が密集する地域の懸念はないか。

（事務局）

老朽住宅は市内全域に分布しており地域を特定した差別化は困難なため、全体としての対応が適切と判断している。なお、中心市街地では老朽建築物や低未利用地の分布が多数みられる状況にある。

（委員）

水道管の耐震化率は高いと認識するが、熊本地震では被災時の修理が困難とも報道されている。帯広市においても修理が困難な場所があるのかないのか、あるのであればそうした点への配慮を計画に盛り込めないか。

（事務局）

順次、耐震管への入替えを進めており、断水時は緊急貯水槽や給水車で対応する。計画への記載（発信の仕方）は検討していきたい。

（委員）

居住誘導区域の境界が札内川沿い（保健福祉センター東側）で凹凸となり、生活拠点に食い込む形状の理由を伺いたい。また、市街地に関わる断層帯（音更川・札内川断層等）の主部の被害想定を、もう少し取り入れてもよいのではないか（意見）。

（事務局）

居住誘導区域は、令和 22 年の将来人口密度 40 人/ha 以上の区域の一団性を基本とし、拠点近接による「密度の経済」の考え方も踏まえて設定している。境界は街区や道路で区切るため、凹凸が生じる部分がある。

（会長）

本日は様々な意見をいただいた。今回は素案であり段階的に検討を重ねていくため、引き続き意見をいただきたい。本日はご報告として意見をいただいたので、以上で議題を終了する。

4 閉会

（会長）

全体を通して、質問、意見はないか。

（事務局）

次回の都市計画審議会の開催は 11 月上旬を予定。時間、場所については、決まり次第お知らせする。

（会長）

それではこれをもって、本日の審議会を閉会する。